

授業概要

社会心理学は、個人と社会状況との間の相互的な影響関係及び人々の心や行動への社会的影響を解明する学問である。社会心理学Ⅱでは、文化的影響や協力問題、脳科学研究など発展的で最新の研究を扱い、社会現象のメカニズムやプロセスを科学的に考察する能力の育成を目指す講義をする。

授業計画

第1回	オリエンテーション
第2回	前期の振り返り
第3回	規範・少数派影響
第4回	意図せざる結果・予言の自己成就
第5回	ネットワーク理論
第6回	コーディネーション問題：集団意思決定
第7回	文化1：文化的信念～社会規範の生成～
第8回	文化2：文化差を作り出す社会的要因
第9回	協力問題：社会的ジレンマ
第10回	内集団ひいぎ
第11回	集団内協力行動と集団間攻撃行動
第12回	流行
第13回	メディアの心理への影響
第14回	社会心理学から多領域への影響
第15回	まとめ
第16回	筆記試験の実施

到達目標

- ・社会心理学における発展的で最新の実験研究に関する座学授業や実習体験を通して、社会心理学分野における基礎的な知識を習得することができる。
- ・日常にある社会現象に着目し、どのようなメカニズムやプロセスによって生じているのかを科学的に考察できる能力を修得させ、洞察力や社会問題解決力、自発的に考える能力、他者と協働する能力を延ばすことで、共生型社会を生き抜く人材育成を目指すことができる。

履修上の注意

- ・社会心理学Ⅰも併せて履修することが望ましい
- ・授業資料は教員が作成するため、テキストは必ずしも購入する必要はない。

予習復習

- ・予習では授業に関連することを事前に調べておくこと。また、参考資料の該当箇所に通しておくこと。
- ・復習では授業資料に隔々にまで目を通し、内容を吸収すること。また、各授業回において、扱った内容を補足する参考資料を紹介するので、読んで理解しておくこと

評価方法

- ・平常点：45%（授業の参加度や提出物の内容）
- ・筆記試験：55%（選択肢問題と記述問題の総合点）

テキスト

- ・安西祐一郎ら, 2014, 社会のなかの共存, 岩波書店
- ・西條辰義・山岸俊男, 2014, 文化を実験する: 社会行動の文化・制度的基盤, 岩波書店